



サイエンスアゴラ 2011 企画委員会企画

「危ないってどういうこと？ —生活の中のリスクと科学リテラシー—」

11月19日(土) 12:45～14:45

みらいCANホール

Timetable

12:45

■ 趣旨

今回の大震災・原子力発電所事故に際して、科学コミュニケーションの役割(何をすべきだったか、何ができたか、何ができなかったか等々)に改めて注目が集まっています。その他、食品安全、健康、金融など、われわれを取り巻くリスクはたくさんあります。

リスクを回避するため、リスクに備えるため、リスクを被ったとき、科学リテラシー、科学コミュニケーションはどこまで有効なのでしょう。

3つの話題提供をもとに、科学リテラシー、科学コミュニケーションの役割と可能性を考えます。

■ 司会

蒲生恵美(日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会食生活特別委員会副委員長)

■ 話題提供

原田良信(放射線医学総合研究所企画部広報課長)

「放射線影響に関する情報発信とリスクコミュニケーション」

小島正美(毎日新聞社生活報道部編集委員)

「リスク報道のゆがみは、なぜ生じるか」

楠見孝(京都大学大学院教育学研究科教授)

「リスク認知と科学リテラシー、批判的思考」

■ コメンテーター

阿南久(全国消費者団体連絡会事務局長)

菊池誠(大阪大学サイバーメディアセンター教授)

14:45

閉会